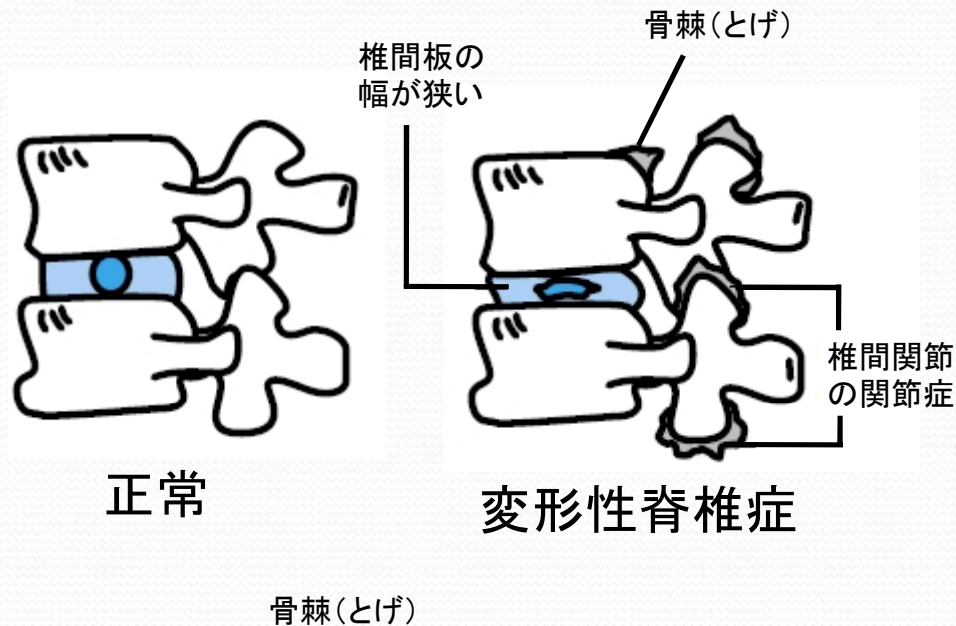


変形性脊椎症



背骨の並びや背骨自体の変形により、猫背や反りの強い姿勢となりますが、その場合も変形性脊椎症と呼ばれることもあります。

背骨の関節の表面には、軟骨が覆っています。しかしその軟骨は加齢によってすり減って、関節でうまく動けなくなり、炎症や痛みが生じたりします。また、椎間板も加齢により弾力性が失われていきます。そうすると、上の骨と下の骨同士がぶつかり、その部分に骨が増殖してとげのような出っ張りが出来ます。これが原因で神経を刺激したり圧迫したりすることで痛みが生じる場合があります。